アカマツ基金の現状報告

校歌にも歌われて、一橋大学のシンボルとも言うべき大学構内のアカマツはマツ枯れ病の蔓延の結果大きく本数を減少させています。大学でも以前からアカマツの幹に対して薬剤の樹幹注入を施してまいりました。植樹会でも当初は一般予算から費用の一部を負担して協力して参りましたが、マツ枯れ対策に本格的に取り込むとともに、失われたアカマツを補うための補植を積極的に行うため、アカマツ基金を設立して広く募金の呼び掛けを行う事にしました。

2017 年度に呼び水として如水会より 200 万円のご寄付を頂き、その後は幅広い層からの募金を頂戴し、累計額は 900 万円を超えるまでになりました。取り敢えず 2017 年から 5 年計画で樹幹注入を計画的に進めて来ましたが、グリンガードＮＥＯという現在使用している薬剤の効果持続期間は 7 年であり、以前に実施したアカマツに対して再度樹幹注入する必要が出てきています。既に 5 年計画の中でアカマツ基金からは累計で 400 万円近くにのぼる金額を薬剤注入費並びにアカマツ補植費用として支出しています。基金のお金に色は付いておりませんが、如水会から頂いた当初の 200 万円は優先的に使わせて頂いた形になっています。

現存するアカマツを継続的に樹幹注入することによって守るとともに、失われたアカマツを新たな苗木を植える事によって復活させる必要が有ります。マツ枯れ病を引き起こす「マツノザイセンチュウ」に対する抵抗力のある品種改良された「抵抗性アカマツ」の苗木も現在手に入るようになって来ており、今後は大学とよく相談して、適地に抵抗性アカマツの苗木を補植するように致します。

アカマツの保全・再生事業は未来永劫続きます。アカマツ基金の募金も継続しておりますので引き続き宜しくお願い申し上げます。

国立・小平アカマツ樹幹注入5ヵ年計画（2017年度－21年度）

	樹幹注入明細				負担者			アカマツ基金寄付金				
年度	実施月	本数	アンプル数	金額	大学	植樹会	アカマツ基金	入金金額合計	一般寄付分	如水会寄付分	引出し合計額	備考
2016年度実施	12	59	566	1,497,636								
	2	34	355	939,330								
	3	6	55	145,530								
小計		99	976	2,582,496	1,252,496	1,330,000	0	0	0	0	0	
2017年度実施	2	34	371	981,666	481,666	500,000		2,000,000	0	2,000,000	0	アカマツ基金創設
	3	67	585	1,547,910	0	0	1,547,910				1,547,910	樹幹注入費：如水会寄付金から充当
小計		101	956	2,529,576	481,666	500,000	1,547,910	2,000,000	0	2,000,000	1,547,910	
2018年度実施	2	46	492	1,201,284	501,284	200,000	500,000	3,369,000	3,369,000	0	500,000	樹幹注入費
	3						181,440				181,440	アカマツ新植（10本）と移植（3本）の費用
2019年度実施	3	37	381	1,026,795	520,135	0	506,660	2,285,300	2,285,300	0	506,660	樹幹注入費
	12						79,200				79,200	定例作業200回記念アカマツ植樹費用
2020年度実施	2	42	438	1,180,410	614,460	0	565,950	530,000	530,000	0	452,090	樹幹注入費：如水会寄付金から充当
											113,860	樹幹注入費：一般寄付金から充当
2021年度計画	2	39	411	1,107,645	533,610	0	574,035	817,000	817,000	0	574,035	樹幹注入費
総合計		354	3,654	9,628,206	3,794,996	2,030,000	3,955,195	9,001,300	7,001,300	2,000,000	3,955,195	
						基金累計			9,001,300	如水会2百万含む		
						基金残高			5,046,105	（asof 22・03・31予想）		